

BESIGN への協定留学（交換留学）月例報告書（9月分）

留学先大学：BESIGN Sustainable design school

はじめに

初めて親から離れて、日本から遙かかなたで生活するということで、行く前はものすごくドキドキしていました。空港から自身のアパートまでは、ニースに住んでいる BESIGN の生徒が一緒にについて来てくれて、電車の乗り方などを教えてもらいました。私のアパートはニースではなく、隣町のアンティーブにあります。アパートというより家で、1階の部分を借りています。同じデザイン学科の日本人の友人と、シェアハウスをしています。日本と異なることがたくさんあるため、最初はホームシックを感じることがありました。1ヶ月経った今ではすっかりフランスの生活に慣れることができました。



家から五分の海

初ニース

銀行口座と SIM 契約のために、ニース中心街に初めて訪れました。アパートに行くまでに手伝ってくれた BESIGN の生徒が、また手伝ってくれました。彼はニースに2年住んでいるため、ニースについてとても詳しいです。ニースの定番観光スポットをたくさん紹介してくれました。特にニースの旧市街は、建物がとてつもなく可愛くて、古い建物が好きな私にはたまりません。ニースの海は、今までで見た海のなかで一番青く、美しいです。初めて見たとき、感動しすぎて涙が目にたまりました。



城からみたニース

アンティーブ



ピカソ美術館



手の形をしたドアノブ



アンティーブ旧市街

私が住んでいるアンティーブにもとても魅力的な旧市街が存在します。家から歩いて1時間ほどなので暇があればすぐに旧市街に行きます。旧市街にはピカソ美術館もあり、可愛らしいお皿や絵を鑑賞できます。旧市街で面白いなと思ったのは家のドアノブです。ドアノブが手の形をしているのです。これは Hand of Fatima といい、家を悪から守るためのものだそうです。

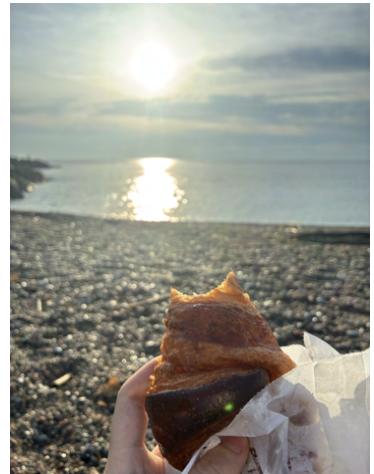
食べ物

私はモツァレラチーズが大好物です。フランスではかなり安く買えるので、ほぼ毎日食べています。スーパーではいろいろな種類のチーズが並んでいて、とても興味深いです。近所のベーカリーで初めて買ったクロワッサンとパン・オ・ショコラは、今まで食べたパンの中で

一番美味しかったです。フランスのベーカリーは日本と違い、店員さんに何が欲しいかを注文するスタイルの場所が多いです。フランス語でちゃんと頼めるかなと、毎回かなりドキドキしてしまいます。おすすめのパンは、アーモンドペーストがぎっしり入ったアーモンド・パン・オ・ショコラです。バゲット・カンパニュを、はちみつかかったスクランブルエッグと一緒に食べると、涙が出そうなくらい美味しいです。フランスでは、美味しすぎるパンを安価で買えてしまうので、太ってしまいそうな予感がします。



パンオショコラ



クロワッサン

日本文化

フランスでは、思っていたより日本の文化が人気で、ちょっと歩くとお寿司屋さんを見つけることができます。私が好きなスタジオジブリのグッズもたくさん売っていて、とても嬉しい気持ちになりました。特に驚いたのが『鬼滅の刃』の人気です。『鬼滅』の映画は映画館で一番上映されており、ケンタッキーフライドチキンともコラボしていました。



学校

授業がまだ始まっていないので、学校についてはまだ詳しく書けませんが、BESIGNはさまざまな国から生徒が来ていて、とても国際的な学校です。授業の内容を聞くと、プロダクトデザインがメインになるものが多く、グラフィックを中心に学んでいる自分は、ついていけるかが少し不安はありますが、自分なりに精一杯頑張りたいです。